

## 友好関係の発展を誓う

友好関係を誓う新都市連絡協議会の市長



### ～友好交流都市協定締結～

11月21日(木)、22日(金)の2日間、三重県久居市で平成13年度新都市連絡協議会が開催され、『友好交流都市協定』が締結されました。

この新都市連絡協議会は、共に市制実現に向けて運動を展開し、昭和45年に市制施行した登別市をはじめ、新潟県豊栄市、東京都福生市、三重県久居市、滋賀県守山市、山口県新南陽市の6市により構成され、昭和55年に『新市制実現都市連絡協議会』（平成8年に『新都市連絡協議会』に改称）を発足させ、『災害時における相互応援協定』を締結（平成7年）するなど相互の協力・交流関係を築いてきました。

このたびの友好交流都市協定の締結は、これまでの交流・協力関係をさらに発展させ、6市相互に産業経済や教育文化、防災対策などの分野で、理解と友好を深める事業を積極的に展開し、恒久的な友好関係の発展に努めていくというものです。

今回の協議会では、友好交流都市の今後の具体的な取り組みとして、市町村合併や財政改革などについての情報交換をはじめ、各市の名産や物産の紹介などについて方針が確認されました。

## 楽しみながら学びを体験

### ～生涯学習ミニフェスティバル～

11月18日(日)、市民会館で教育委員会・登別市ふるさと広場実行委員会主催による『生涯学習ミニフェスティバル』が行われ、約700人が参加しました。

この日は、老人大学大学院ハーモニカグループの演奏や札内神楽獅子舞と幌別鉦山獅子舞の郷土芸能が披露されたほか、市教育委員会前教育長の後藤八良氏による『生涯学習に思うこと～生かされて

生きた貝柱人生～』と題した講演が行われました。

また、押し花や陶芸、魚拓、たこ作りなどの体験コーナーが設けられ、親子づれや仲間同士で、体験学習を楽しんでいました。



## 演劇の素晴らしさを学ぶ

### ～北海道舞台塾in西胆振“のぼりべつ”～

12月2日(日)、3日(月)の両日、市民会館を会場に『北海道舞台塾in西胆振“のぼりべつ”』（同実行委員会主催）が開催されました。

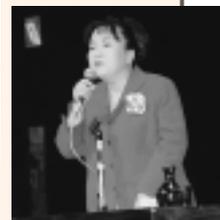
この事業は、室蘭、登別、伊達の3市が、地域の舞台活動活性化のため進めている北海道舞台塾in西胆振の事業の一環として開かれたもので、講師に女優、劇作家、演出家として多彩に活躍する渡辺えり子さんを迎え『高校生のための演劇ワークショップ』と『講演会』が行われました。

2日のワークショップには、3市の高校から演劇部員28人が参加。渡辺さんから、ボールを使っただのからだの動きの表現など、演技の指導を受けました。

また、3日の『舞台に恋して一歩いてきた道、歩いて行く道』と題した講演会では、渡辺さんは自らの生い立ちや上京後の演劇の勉強、劇団結成の話などをユーモアを織り交ぜながら紹介していました。



▲高校生に演劇の指導をする渡辺さん



## 友だちという財産を得て帰国

### ～張紅莉さん『鬼大使』に委嘱～

自治体職員協力交流事業の研修員として、昨年6月から半年間、市の観光行政を中心に研修などを積んできた中国・北京市のホテルに勤務する張紅莉さんが、11月26日(月)、『登別市ふるさと大使』（通称・鬼大使）に委嘱されました。

登別をPRする『鬼大使』は、平成4年から、首都圏などで活躍する登別市出身者や登別にゆかりのある方に委嘱



しているもので、張さんは通算42人目、外国人では10人目の鬼大使。「たくさんの友だちができ、寂しいとは思ったことはありません。中国に戻ったら、登別の良さを多くの人に伝えていきます」と、別れの言葉を述べ、帰国しました。